

藺浦政務官スピーチ

【冒頭】

ケリー議長および御列席の皆様，本日は，国際社会が一致して
アイエスアイエル
I S I Lの脅威に対抗し，また，イラク政府の取組を後押しするた
めの会合で，日本の立場を表明する機会をいただいたことに感謝の
意を表します。

【日本の基本的立場】

議長，国境をまたぎ，「国家」の樹立を独自に宣言する アイエスアイエル I S I L
の活動は，中東地域に限らず，国際社会の秩序全体を揺るがす深刻
な脅威です。直ちに対応が必要であるという危機感を共有します。

日本政府は，これまで同様，あらゆる形態のテロリズムを断固と
して非難するとともに，イラク政府や各国によるテロとの闘いを支
持します。

【新政権発足への祝意・イラクのオーナーシップの強調・支持】

議長、^{アイエスアイエル} I S I L の脅威に対抗するためには、まずもってイラクの政治的安定が不可欠です。今般、イラクにおいて、包括的な新政府が発足したことを歓迎します。アバーディー首相のリーダーシップの下、国民和解と、国家的統一に向けた取組が進展することを期待します。

議長、日本は、これまで、エネルギー、インフラ、保健等様々な分野でイラクの国づくりに積極的に貢献してきました。今後もこのような取組を通じて新政権を支えていきます。

【日本の支援：短期（人道支援等）】

日本としては、軍事的な貢献はできませんが、人道支援やテロ対策に積極的に取り組みます。

日本政府は、^{アイエスアイエル} I S I L 対策として、既に拠出済みの 780 万ドルに加え、この度、新規に約 2,550 万ドルの支援を行うことを決定したことを表明します。

【日本の支援：中長期（ガバナンス強化）】

議長、過激主義が定着することを阻止し、地域の永続的な安定を確保するには、緊急人道支援のみでは十分ではありません。イラクをはじめとする域内各国が、安定した経済・社会に下支えされた形でガバナンスを効果的に行えるよう、力強く後押しすることが重要です。行政組織の人材育成、国内法の整備といった、ガバナンス強化のための支援は日本の得意とするところであり、国際社会の責任ある一員として日本は今後も積極的に貢献して参ります。

【テロ対策】

議長、テロ組織の脅威に効果的に対処するには、テロ組織への資金・武器・人の流れを阻止することによりその勢力を削いでいくことが必要不可欠です。テロ組織の外国人戦闘員問題は、テロの脅威を世界中に拡散させるリスクを孕んだ深刻な課題です。

日本としては、各国と連携しつつ関連する国連安保理決議の着実な履行や暴力的過激主義対策、テロ資金対策、適切な出入国管理等に取り組み、テロの脅威を封じ込めるための不断の努力を継続していきます。

【結語】

議長、本日の会合によって、イラクの新政権に対する国際社会のコミットメントと努力が改めて結集され、^{アイエスアイエル} I S I L を撃退する（roll-back）との断固たるメッセージが発信されることを期待します。

ご清聴ありがとうございました。